



時間は平等 時間は命

校長 福島 剛

本日で、1学期、68日間が終了します。ふり返ってみると、皆さんは日々の授業や部活動、委員会活動、そして学年行事（東京校外学習・林間学校・修学旅行）など、様々な活動に意欲的に取り組み、仲間と協力をする姿や努力を重ねる姿を多くみることができました。特に、1年生は、環境の変化に対応し、中学校生活で多くのことを学んだと思います。この1学期に経験したことや身につけた力は、今後の学校生活や将来につながる大切な財産となります。



さて、本校では、「時間を守る」を実践しています。「影森中学校の生徒は『これが』できます」の1番目の項目が、「時間で動く 時間『前』に動く」です。人として、時間を守ることは信用にかかわり、とても重要なことです。毎月実施しているアンケート結果においても、この項目は常に4.3（1～5で評価）前後で、非常に高い数値を出しています。実際に、授業が時間通りに始められたり、全校で集合するときも時間前には整列が完了したりと、学校生活の様々な場面において、生徒一人一人が時間を守ることに對する意識が高い状況でした。

次の段階として、「時間を守る」とともに「時間をどう使うか」を考えてください。

皆さんにとっての1日、先生方にとっての1日、1日は24時間です。時間は年齢や立場に関係なく、誰にでも平等に与えられています。誰もが時間におけるスタートラインは、一緒ということです。そのため、時間の使い方によって、時間の価値が大きく変わるとともに、自分の未来も変わってきます。

1学期授業日数の68日間、4月1日から本日まで108日間、皆さんはこの時間をどのように活用しましたか？いよいよ、明日から夏休みです。学校での生活は、時程が決まっているため、その時間に合わせて登下校し、授業を受けます。そのため、生活のリズムができます。規則正しい生活も送れます。しかし、明日からは、すべて自分自身で時間の使い方を決めます。明日からの38日間、時間では912時間、皆さんはどう過ごしますか？

例えば、1日1時間でも勉強を続けたり、本を読んだり、運動を続けたりすると、その積み重ねは1か月後には大きな力になります。毎日1時間勉強する人と何となくスマホを見て1時間過ごす人で、38日後には38時間の差が生まれます。短い時間でも毎日続けることで、大きな成果につながっていきます。そのために、自分なりの目標を決めてください。

「毎日1時間勉強する」「毎日、早寝早起きをする」「毎日筋トレをする」どんな目標でもよいです。重要なことは、自分で決めて毎日続けることです。

「時間は命そのものだ」という言葉があります。自分の時間を何に使うかによって、自分の人生が作られていきます。時間を大切にし、自分を成長させる夏休みにしてください。

8月の主な行事予定



日	曜日	行 事
25	火	2学期始業式（式・清掃・学活 完全下校 11:00） 給食なし 部活動なし 生徒会役員立候補受付開始
26	水	特別日課（40分×5時間） 登校指導 給食開始 卒業アルバム撮影
27	木	特別日課（40分×5時間） 生徒会役員立候補受付締切
28	金	特別日課（40分×5時間）
31	月	特別日課（40分×5時間）